

RCヘリコプター青森県大会 参加のご案内 (2015年度版)

20150829更新 ver2.0

< 当大会競技参加のお申し込みについて >

- ・「青森県」大会と題してありますが居住地による制限は特にありません。参加資格はラジコン保険加入者であることのみです。青森県外在住の方のご参加も受け付けます。
- ・当日有効なラジコン保険加入者であることが参加の必須条件です。参加お申し込み時にお手持ちのラジコン保険の有効期限を再度ご確認ください。
注)当日は必ずそのラジコン保険証(登録証)を持参して下さい。(受付で提示が必要)
- ・2015年は2012・2013・2014年発表分と同じ競技種目で行います。

注1)当大会ではF3Cクラスを除き、「特定の演技項目を実施しない」前提での競技参加も受け付けます。安全に行えないとご自身で判断する種目は、競技前に申告した上で省略することが可能です。(その種目は0点として採点されます。)

「競技への参加」の意義を、多くの方に体験して頂く為の配慮ですので、得点や順位にこだわらず、ご自身の可能な範囲で無理なく上位クラスへの参加もして頂けます。

注2)参加者数確保のため、参加者お一人につき、参加クラスは1つとさせていただきます。
本大会ではダブルエントリーは受け付けておりません。

- ・お申し込み方法は大会詳細ページを参照下さい。専用申し込み用紙を店頭提出またはFAXして頂く方法と、メールからの方法があります。
*いずれの場合でも、機材詳細も必須記入項目ということでご協力願います。
- ・青森県模型航空連盟に加盟クラブ所属の方は参加費は無料です。それ以外の方は一般参加となり参加費は¥3,000です。(どちらでも参加者には全員昼食が付きます。)

< 2013年からの競技会場変更について >

- ・2012年までの会場(青森県三戸郡階上町)ではありません。お間違いの無い様願います。
- ・この会場詳細については別途案内文書「開催地案内」、並びに岡ラジコンショップのホームページ「専用飛行場」の各案内をご覧ください。

< 安全上の注意点 >

- ・当大会では「安全」を全てに優先します。参加者皆様のご協力をお願い致します。
- ・競技中に生じた事故・損害については主催者側はその責を負いません。
- ・飛行エリア内(場内白線で示します)には競技中は競技者本人とその関係者以外立ち入らないで下さい。観客、特にお子様には参加者全員で注意を払って下さい。
- ・いかなる場合でも、飛行エリア外での飛行は禁止です。

< 競技進行について >

- ・当日開催前における、会場内及び周辺地域での練習飛行は禁止です。
- ・各クラス共、個々の競技時間計測はありません。各自円滑な運用を心掛けて下さい。
出場順を確認し、ご自身の数人前の競技中から準備に入して下さい。
- ・各クラス共、終了から次のクラス開始までは5分間のインターバルをおきます。
- ・エンジン始動は、直前競技者の最終演技終了前に完了するよう行って下さい。
目安として、ビギナーはホバリングT終了まで、ミドルは場周飛行開始まで、
アドバンスはループ終了までに行って待機して下さい。
- ・エンジン始動と待機は全クラス、基本的に場内右側のスタートサークル(レディボックス)で行って下さい。
- ・始動に時間がかかると判断した場合は早めに申し出て本部の指示に従って下さい。
- ・待機中はビギナー級を除き、スタートサークルに於いて高さ2m以下のホバリングまで行って構いませんが、待機／飛行移動中に180°を超えるピルエットは禁止です。
- ・前競技者のオートローテーション開始前には機体は接地し、エンジンは必ずアイドルまで下げた状態で待機して下さい。
この際、始動が間に合わない場合は前競技者の着陸・完了を待ってから行って下さい。
- ・スタートサークルからヘリパッドまでの飛行移動は高さ2mで、本部右手側から進入して下さい。終了した競技者は速やかに機体を回収し会場左手側へ退場して下さい。
- ・競技は全クラス基本1ラウンド制ですが、上位入賞3位までに同得点者がした場合、その該当者のみで同種目での2ラウンド目、あるいは選択された限定種目による同点決勝を行います。(4位以降は同率順位者が重複して居てもそのままです。)
従って、一度自身の競技が終わっても、参加クラスの入賞順位が確定するまでは2回目の飛行が可能な状態で待機してして下さい。

< 助手とコーラーについて >

- ・機体運搬の助手やコーラーが必要な方は本部かスタッフに事前に申し出てください。
- ・コーラーは一緒に練習を積んだ方を選任されるのが理想ですが、アドバンス以下のクラスで専属のコーラーがいない場合、大会運営側スタッフで担当致します。
F3Cに関しては、演技名称が複雑でコールのタイミングが重要なため、F3Cクラス出場者同士で都合するなど、出来るだけ選任のコーラー担当者を事前に準備願います。
- ・「スタート」及び「フィニッシュ」のコールは本人が行っても構いません。
(この場合コーラーはこれを復唱します。)

- ・コーラーの「スタート」コールは採点区間の宣言であって、演技開始の合図ではありません。
演技開始タイミングはあくまで競技者本人の判断で行って下さい。
尚、アドバンスのオートローテーション「スタート」コールはオートロ開始直後に行います。
- ・運営スタッフによるコーラーは必要時以外は基本的に演技内容指示・アドバイスを行いません。
演技内容と順番は各自事前に十分理解してから競技に臨んでください。
(F3Cを除き、競技中にアドバイスを行うサポートを一名に限り付けて頂いても構いません。)

< 参加機体について >

- ・2.4Ghz帯送受信機の普及に伴い、安全上使用周波数は2.4GHz帯に限定します。
注)2012年から、当大会において旧周波数帯(72・40Mhz)の使用は出来なくなりました。
- ・送受信機は(財)日本ラジコン電波安全協会の標準規格適合証明があるものに限りませす。
海外製品等でこの規格を満たさないものは使用できません。
- ・当大会で参加可能な機体は、実施時に適用されるFAI F3Cルールに規定される機体の定義と規格を満足するものとします。規格内であれば動力種類、サイズの別を問わず、どのクラスでも参加可能です。(飛行時重量6.5kg以下、ローター排気面積250dm²以下、等)
(FAI F3C競技規定参照URL: <http://www.jmaf.jp/helicopter/index.html>)
- ・同一機体や同一送受信機を複数参加者で共用しての参加は出来ません。
- ・「マルチコプター」、いわゆる「ドローン」機についてはJAA・日本模型航空連盟の見解に基づき、FAIスポーティングコードとして存在しない機体規格であること、同JAAラジコン保険の適用外となること、同JAA公式競技では飛行禁止措置が取られている事等の事情に鑑み、本大会でも競技への参加に関しては当面認めないことと致します。ご了承下さい。
(参考 日本模型航空連盟「ドローン規制について」:<http://www.jmaf.jp/drone2015.pdf>)
- ・当大会では3軸ジャイロ搭載機について、ジャイロ種類について2014年までの実績で水平安定装置に特に優位性を認めなかったため、F3Cクラス以外ではフライバー付またはフライバーレスに関わらず、電波や光学式の外部信号を使わないものであれば、サイクリック無操作で自動水平を出す、あるいは軸加速度検知(6軸ジャイロ)等の安定装置が付加されたものでも使用可能です。
(F3Cクラスは現行FAI F3C規定に基づき、位置・高度を維持する装置、及び事前プログラムされた飛行とみなされる水平安定装置の使用は認められません。)
- * この機体規格についてはFAI F3Cルール改定により変動する場合があります。
- * 3軸ジャイロ種類については引き続き2015年度の暫定運用です。

以上